

当事者等の意見を反映できる者
を加える予定である。

②認定家庭福祉員は低年齢児
を対象とした保育サービスの重
要な担い手で、これまでも支援
体制のあり方について意見交換
を行っており、支援・連携の方
法等について検討している。

都市整備

小川駅周辺はユニバーサル
デザインのまちづくりを目指す

山岸真知子議員（公明） ユニ
バーサルデザインのまちづくり
を進めるために多様な市民意見
の集約が必要と考えるが見解は。

市長 まちづくりビジョンの策
定では地域の実情に即した観点
での協議を基本とし、懇談会委
員には対象地域内の自治会長や
地元の商店会長を中心に参加し
てもらっている。また、対象地
域周辺の自治会や医療・福祉施
設、学校関係者、一般公募市民
にも参加してもらい、多様な市
民意見の集約を行っている。

生態系など自然環境に配慮した
エコロード等を検討できないか

立花隆一議員（公明） ①都市
計画道路等の道路整備でエコロ
ードを導入できないか。

②道路に接する建築物に屋上
緑化等を義務づけられないか。

市長 ①計画段階から工事の実
施、その後の管理に至るまで自
然環境等への配慮は必要であり、
今後も地域の状況を踏まえなが

ら、道路整備による影響を低減
する配慮を行っていききたい。

②木造住宅では建築構造上困
難なこと、また、一定規模以上
の事業では都が指導しているの
で、市が義務づける考えはない。
※エコロードとは

一般に、道路整備等において
地域における生態系の保全や共
生に配慮された道路のこと。

小平駅北口周辺の
まちづくりについて

岩本博子議員（生ネ） ①駅周
辺のまちづくりを考える上でコ
ミュニティーの再生という視点
は欠かせないが、市の認識は。

②進捗状況も含め情報提供と
意見聴取を積極的にすべきでは。

市長 ①駅前再開発という大き
な地域課題を自分たちの身近な
問題としてとらえることで、お
のずと地域コミュニティが盛
り上がってくると考えている。

②再開発協議会に移行後も役
員と連携し、広報紙の発行や機
会をとらえて説明会を開催する
など情報発信に努めたい。

▲小平駅北口街づくり協議会の
勉強会



喜平橋すいすいプランの
進捗状況等について

浅倉成樹議員（公明） 現在の
進捗状況はどうなっているか。

市長 東京都北多摩北部建設事
務所へ確認したところ、平成24
年度は喜平橋から南側へ向かう

都道133号線の東側歩道部分での
電線共同溝設置工事及びライフ
ライン工事を実施し、同時に用
地取得に向けた交渉を進めてい
ると聞いている。また事業の終
了時期は一部用地の取得が難航
しているので未定と聞いている。

再び、小平駅西側の小平第1号
踏切はあかすの踏切か

蛇川 浩議員（公明） ①小平
第1号踏切での調査結果は。

②現在の状況を打開するため
の具体的対策はあるか。

市長 ①1時間ごとのピーク時
間帯は午前8時台及び午後6時
台で、連続ではないがピーク1
時間の遮断時間が4分以上とい
う状況を確認した。また、進路
を譲り合わない歩行者が全体の
流れを妨げる状況も確認された。

②踏切自体の改良以外にも、
利用者のルール順守やマナー向
上を図ることが踏切全体の安全
性向上の一助になると考える。

小平第1号踏切と小平駅
構内の自転車通行について

永田政弘議員（政和） ①小平
駅西側にある小平第1号踏切の
現状をどう考えるか。

②小平駅構内の自転車への対
応をどう考えるか。

市長 ①都の踏切対策基本方針
で重点踏切の一つとして抽出さ
れており、交通問題の発生や地

域の分断による生活の不便等の
課題がある踏切と認識している。
②駅構内は西武鉄道株式会
社の管理施設で自転車の通行は認
められておらず、エレベーター
の規格も自転車の利用はできな
い現状である。

▲小平第1号踏切



障がい者へのICT活用による
社会参加の支援について

永田政弘議員（政和） ①障害
者へのICT機器等の補助を行
っているか。

②市の施設に早急にWiFiを
設置すべきと思うがどうか。

市長 ①視覚障害や上肢機能障
害1級または2級の人に対し、
障害者向けのパソコン周辺機器
及びアプリケーションソフト等
を給付している。

②利用者の利便性を向上させ
るものと認識しているが、通信
費等の経済的負担等が生じるこ
とから施設のあり方を踏まえて
検討する必要があると考える。

③地域防災計画の見直し案の策
定方法について